

喜界町

図書館だより

6月号



【通算 第276号】

2019（令和元）年6月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して一時の心の触れ合いをつかむ、きっかけづくりのお手伝いをしています。

★（受け取りは0歳児のみ。ブックスタートの文書が届いたのち、図書館にご来館ください。）

「古本市・子どもの日おはなし会」開催

4月20日（土）・21日（日）に「古本市」が開催され、両日で130名の来館者がありました。古本市では、1冊20円の本と無料の本が多数展示され、開館前から数名の人が玄関前で並び、掘り出し物があったと喜ぶ人やどれを買おうか迷っている人の姿があちこちで見られました。ちなみに、期間中、400冊余りの本がリサイクルされ今年も盛況でした。

また、5月4日（土）には「子どもの日おはなし会」が開催され、子ども達や保護者の方など28名の参加がありました。おはなし会では、読み聞かせグループ「ころころの会」の会員の方や本館職員が、エプロンシアターやパネルシアター、新聞シアター、方言による読み聞かせ、アニメ映画上映等を行い、とても盛り上がりました。途中、鯉のぼりの絵が描かれた紙飛行機づくりに奮闘する姿も見られ、紙飛行機を手にとり子ども達も満足した顔でそれぞれ家に帰っていきました。



一度きりの人生をいかに豊かにするか？

標記のことについて、教育学者の齋藤孝氏は、近著「読書する人だけがたどり着ける場所」で「人生は一度きりで、当然ながら他の人の人生を生きることはできません。しかし、本を通じて他人の人生を追体験することはできます。別の時代を生きた人、他の国を生きた人の人生も臨場感をもって知ることができます。これはとても重要なことです。他人の気持ちを想像して感情移入し、受け入れる経験となるからです。人と人が関わりながら生きていくうえでは、他人の気持ちを理解し認め、受け入れることが必要とされます。それによって、自分自身が成長するし、人生を豊かにしていけるのです。」と述べ、読書の重要性を説いています。町民の皆様におかれましては、ぜひ喜界町図書館に足をお運びいただき、興味のある本を手にとってみられてはいかがでしょうか。それにより、今よりもっと豊かな人生が広がっていくかもしれません。



おしらせ



本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。興味のある方は、図書館へ連絡ください。

たなばた おはなし会

- 日時 令和元年7月6日（土）
午後2時～午後3時30分
- 場所 きかいちょうとしょかん 2F



- ★ 楽しいイベント盛りだくさん、お楽しみに！
- ★ アニメ映画上映など

☆大活字の本を新しく入荷しました。

- | | |
|---------------|---------|
| ○はちまん（1～4） | 内田 康夫著 |
| ○暁の旅人（上・下） | 吉村 昭著 |
| ○栗田口の狂女（上・下） | 滝口 康彦著 |
| ○海と月の迷路（1～4） | 大沢 在昌著 |
| ○老いては自分に従え | 山藤 章二著 |
| ○鬼火の町（上・下） | 松本 清張著 |
| ○制服捜査（上・下） | 佐々木 譲著 |
| ○我が家の問題（上・下） | 奥田 英朗著 |
| ○おしゃべりの思想 | 外山 滋比古著 |
| ○手のひらの砂漠（上・下） | 唯川 恵著 |
| ○なかなかいい生き方 | 平岩弓枝著 |
| ○真相（上・下） | 横山 秀夫著 |
| ○歴史の愉しみ方 | 磯田 道史著 |
| ○仁術先生 | 渡辺 淳一著 |

※「本の字は小さくて読みにくい」という方におすすめてです。

「古典全集」を新しくしました！

喜界町図書館では、新元号に合わせて「日本古典文学全集」を新しく入荷しました。新元号「令和」の由来となった「万葉集」をはじめ多くの古典本を揃えてお待ちしておりますので、ぜひ一度手にとられてみてください。

